

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目6番13号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	令和2年2月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

元氣よく体操をし、歌を歌い、一緒に調理をしたり、掃除をしたり、のんびりとお茶を飲んだり、理念にあるように「ゆっくりと楽しく過ごす」を頭に入れながら、日々支援しています。明るく開放的なリビングがあり、皆様は、そこから毎日桜島を見えています。近所へ買い物へ行ったり、散歩、ドライブへ行き、季節を感じ皆様と一緒に楽しんでます。これからも、御利用者様と共に、楽しく笑顔で過ごせるよう支援していきたいと思えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は近くに慈眼寺公園やふるさと考古歴史館があり、地域の人々とふれあいながら生活できる環境で、2階が住宅型有料ホームで災害時の協力関係が整っている。
- ・協力医療機関からの月2回の往診や看護師との連携を図り、緊急時の対応などに適切な医療が受けられるよう支援している。
- ・自治会に加入し、地域行事に参加している。事業所の行事には、ボランティアの訪問があり、差し入れなどもある。地域の人からの認知症の相談に対応するなど、地域との交流を大切にしている。
- ・管理者や職員間のコミュニケーションが良い。利用者に寄り添って対応し、否定することなく傾聴に努めている。理念に基づき、ゆっくりと楽しく過ごせるように、些細なことでも「気づき」を共有し、ケアの統一を大切にしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の「ゆっくり楽しく過ごしていただく」「明るい環境の中での笑顔に共感」「家族や地域交流を大切にする」を念頭に取組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念で、事業所内や重要事項説明書・パンフレット・毎月発行の便りに掲載している。毎朝申し送り時に唱和し、職員会議等で振り返り、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近隣の方が野菜などの差し入れを持ってきていただいたり、気軽に挨拶をしてくったりと交流している。	町内会に加入し、夏祭りや谷山ふるさと祭りなどの地域行事の見物に出かけている。保育園児との交流、高校生の職場体験学習、ボランティアの受け入れなども行っている。地域の人々の認知症についての相談に対応するなど日常的に交流している。野菜などの差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の場などで、認知症の方に対し、ご理解頂けるように話をしたりと、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の場でいこいの広場の取り組みを報告したり、参加者の方々からご意見を頂ながら、サービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や事業実施報告・ヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告等を行い、参加者からも多くの助言や提案がある。事業所への理解を深め、情報発信の場ともなっている。助言を避難訓練や地域との交流に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議では、長寿安心センター（地域包括センター）の職員に参加頂いたり、協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で相談や情報交換を行い協力関係を築いている。介護相談員の受け入れも行き、福祉課の担当者とも連絡し合っている。市主催の研修会やグループホーム協議会の研修にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフ全員が、具体的な行為に、どのような事が起こるか、理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って、3ヶ月毎に勉強会を実施している。対象となる事例検討会などで職員の共通認識を図り、言葉による拘束も含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせず、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加したり、学習会を行ったり、虐待などに対し、理解し、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>いつでも支援が出来るように制度について学習している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者本人やご家族に十分な理解を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議など通して入居者様やご家族が意見や要望を表せる機会がある。</p>	<p>利用者からは、日々の関わりの中で意見や要望を聞き、アンケートで嗜好調査等の実施をして対応している。介護相談員の意見も参考にしている。家族からは面会や行事参加時や電話・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。意見箱も設置している。要望で訪問マッサージや牛乳購入の希望があり対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会をもうけており、反映させている。</p>	<p>管理者は毎朝のミーティングや職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。出された意見や提案などで利用者の残存能力保持に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の能力など把握し、働き甲斐がある職場づくりや環境を整えている。また職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一人一人の、力量に応じながら、研修を受けられるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流も兼ねて、合同の研修会を行い取り組んでいる。また近所の施設などに訪問し交流している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居した時は特に、安心してサービスを受けて頂く様に、本人の声をしっかりと傾聴し、安心される様に努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様との十分な信頼関係を築けるように、話をしっかりと伺い取り組んでいる</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様と一緒に、共に本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人様が、大切にしてきた関係が途切れる事が無いように定期的に連絡をしたりと努めている</p>	<p>家族や友人・知人の訪問を奨励し、一緒にお茶を飲んだりしている。ドライブの際、家の近くに出かけたりしている。電話や手紙の取次ぎなども行い継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外出や外食・理美容院利用・墓参の際など支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>いつでも相談に応じたり、こちらから定期的に連絡したりと、退所後の支援に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様一人ひとりの思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援している	入浴や夜勤時など日々の関わりの中で、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、介護相談員の助言も参考に家族とも相談し職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態など、毎日の記録や申し送りまた職員会議などを通して現状に把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、それぞれの意見を反映し、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる	本人・家族の意向を確認し、主治医の意見や職員の意見をもとに担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	それぞれ個人記録があるので、それを活用している。また申し送りなど行い、情報の共有化にとりくんでいる。介護計画の見直しにも活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一つのサービスにとらわれずにその時の状況に応じ、臨機応変に対応し、取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また消防訓練などに参加して頂いている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様とご家族様に納得して頂いているかかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している	受診は、本人及び家族の希望でほとんど協力医療機関が主治医となっている。月2回の往診で対応している。他科受診は情報を提供し、家族同行となっているが、家族が困難な場合には、受診を支援している。受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事をすぐに連絡、相談できる様に取り組んでいる。また本人様が適切な受診が出来るように取り組んでいる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合には、できるだけ早期に退院が出来るように、病院関係者との話し合いをもち情報交換を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様、ご家族様と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している</p>	<p>重度化した場合の対応に係る指針を説明し、同意書をもらっている。状況変化に伴い家族の意向を確認し、主治医を交えて話し合い、家族と方向性を共有できるように取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来るように備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている。</p>	<p>消防署立会いのもとで年2回、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、定期的に設備等の点検も行っている。運営推進会議と同日に実施する場合もある。地域との協力体制もできている。地震対応マニュアルも整備している。水・米・缶詰・インスタント食品等の備蓄がある。懐中電灯やカセットコンロも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の自尊心を傷つけないように、声かけや対応に気をつけている。また職員間でも気を付けている	権利擁護や虐待等の勉強会を実施し、レポート提出など職員の資質向上に取り組んでいる。入浴介助・トイレ誘導等で、羞恥心に対する配慮を行って、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。利用者の呼び名は「さん」づけしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が、思いや希望を自己決定できるような声かけを行い、取り組み、またその意思は尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って過ごして頂ける様に、一人ひとりのペースに合わせてながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれが出来るように、乳液や化粧水など準備し、ご自分ですることが困難な方には、職員が一緒になって支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の中で、入居者様とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳、食器の準備などを毎日行っている	旬の食材で、利用者の嗜好を取り入れ、食事形態を工夫した献立である。包丁を使ったり、皮むきや盛り付けなど職員と一緒にしたりしている。一人ひとりの誕生会、行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスなど、かかりつけの病院の栄養士にチェックして頂いている。また一人ひとりに応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後就寝前など、口腔ケアを行っている、また職員が一部介助を行い支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせ、なるべくトイレで排泄していただける様に支援している。また失敗しても自尊心を傷つけないように声を支援している	一人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。必要に応じての声かけや見守り、確認することでトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。リハビリパンツにパット使用者が多く、自立に向けて努力している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、健康体操を行い体を動かしたり、食物繊維が多い食事を提供し取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望にあわせながら、ゆったりと入浴できるように支援している。入浴日等は特に決めずに行っている	基本的には週3回、午後になっているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。2人介助や同性介助で対応している。ゆず湯や入浴剤を使用して、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者にも声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して就寝できるように、声かけし、騒音や雑音が無いように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用している薬の副作用など理解している。また忘れてしまった時でも、一人ひとりファイルがあるので、その都度確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人様の、得意なこと、出来ることを把握し、一人ひとり役割を持って頂き支援している</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望に沿って戸外に行けるように支援している。また遠方へはご家族の協力を得ながら、入居者様の希望を尊重し出かけている</p>	<p>日常的には周辺の散歩や外気浴・買い物に出かけている。計画を立て、初詣・花見・紫陽花祭り・コスモス見物・ミカン狩り・ソーメン流し等に出かけている。家族の協力で外出や外食・理美容院利用・墓参などの際にも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理が出来る入居者様には小額ではあるが管理していただいている、買い物の際にはそのお金を支払いに使って頂き支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも連絡が出来るように、電話の子機を広間に備えている、ご自分でボタンが押せない方は、職員がボタンを押し支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>快適に居心地よく過ごして頂ける様に、明かりや、温度、湿度に気をつけている。また野菜畑から収穫し季節を感じて頂いている</p>	<p>共用の空間は、桜島を眺め広々として開放感がある。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には利用者の作品や行事の写真・花など季節感を大事にした設営である。千羽鶴も飾られている。ソファで、窓からの街並みや風景を楽しみながら居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間では、利用者の皆様が自由に過ごして頂ける様にソファやテーブルを設置している。皆様自由に行き来されている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、なるべく本人様が使用していたものを、入所される時点で持って来て頂き、居心地良く過ごして頂ける様に配慮している</p>	<p>居室はエアコン・ベッド・タンス等が備え付けである。テレビやラジオ・時計・寝具・スタンドハンガー・遺影・家族の写真・カレンダー等、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮してある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の手すりや、トイレ・浴室の案内表示など、なるべくご自分で行けるように工夫している。また声かけや付き添いながら自立できるように支援している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない